(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 4日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒104-0054

住 所 東京都中央区勝どき4-6-2

氏 名 株式会社巴コーポレーション東京支店 執行役員 支店長 佐藤浩幸

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3533-7801

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その 処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社巴コーポレーション東京支店
事業場の所在地	〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-2 東京支店(現場:佐倉市、成田市)
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っ	っている事業に関する事項
①事業の種類	D06-総合工事業
②事業の規模	売上高 33,342百万円(令和5年度)
③ 従 業 員 数	379名
④ 産 業 廃 乗 物 の 一連の処理の工程	

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) 工事統括(統括責任者) 建設工事部長(廃棄物管理担当部長) 建設工事グループ長(廃棄物管理担当課長) 建設工事現場作業所所長 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 ガラスくず、コンクリー トくず及び陶磁器くず 廃プラスチック 産業廃棄物の種類 排出量 24.9 31.3 t t (これまでに実施した取組) ①現状 混合廃棄物を削減するため分別を徹底 搬入資材の過剰梱包を無くし排出量を抑制 【目標】 ガラスくず、コンクリー 産業廃棄物の種類 廃プラスチック トくず及び陶磁器くず 排出量 10 10 t t (今後実施する予定の取組) ②計画 取組継続 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別している種類:廃プラ、紙くず、木くず、金属くず、石膏ボード、がれき類 分別に関する取組:種類ごとに専用のコンテナ等を用意し混合廃棄物の排出量を抑制 ①現状 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 取組継続 ②計画

自ら行う産業廃棄	<u> </u>				
	【前年度(令和5年度)実績]			
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	ガラスくず、コンクリー トくず及び陶磁器くず		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0		
①現状	(これまでに実施した取組)				
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くす		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0		
②計画	(今後実施する予定の取組)				
中と行き文楽成者	歩 の中間加畑)を関わりまで				
日ら行り座業廃業	物の中間処理に関する事項 【前年度(令和5年度)実績	1			
	産業廃棄物の種類」	アプラスチック	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くす		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0		
①現状	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0		
	(これまでに実施した取組)				
	【目標】				
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くす		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0		
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0		
	(今後実施する予定の取組)		•		

日 り11	ソ 医	11立処	分又は海	洋投入処分に	-関する事項				
		【前	年度(令	和5年度)実	漬】				
		産	業廃棄	物の種類_	廃プラスラ	チック	ガラスくず、コンクリー トくず及び陶磁器くず		
		海洋	投入処	処 分 又 は 分を行った 寒 物 の 量	0	t	0	t	
(1)到	見状	()	れまでに	実施した取組	1)				
		_							
		【目	標】		T		ガニッノ ニュ	v & 11	
				物の種類処分又は	廃プラスラ	チック	ガラスくず、コミトくず及び陶磁		
		海洋	生投 入 处	だり D D 分を行う E 物の量	0	t	0	t	
②言	計画			る予定の取組	1)				
産業廃理	棄物の処理の委託								
		【前	年度(令	和5年度)実	漬】 		ı		
		産	業廃棄	物の種類_	廃プラスラ	チック	ガラスくず、コ: トくず及び陶磁		
								公台 〉 ソ	
		全	処 理	委託量_	24. 9	t	31.3	t	
		[優良認定	委 託 量 _ 処理業者への 委 託 量	24 Q	t	31. 3 31. 3		
		:	優良認定 処 理 再 生 利 <i>j</i>	処理業者への	24. 9			t	
①	見状	2 2 - -	優良認理再生理型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型<	処理業者への 委 託 量 用業者への	24. 9	t		t	
① ^j	見状	-	優処再処認処認処良生理定定財定無支財財回と財日日と日日日と日日日と日日日と日日日と日日日と日日日と日日日と日日日と日日日と日日日と日日日と日日日と日日日日と日日日日日と日日日日日日と日日日日日日日と日日日 <td>処理業者への 委託 量 用業者への 委託 量 収業者への</td> <td>24. 9</td> <td>t</td> <td></td> <td>t t</td>	処理業者への 委託 量 用業者への 委託 量 収業者への	24. 9	t		t t	
① ^更	見状	()	優処再処認処認熟処認熟処取款収理定工大大大定工大大大定工大大大定工大大大定工大大大で大大大大で<	処理業者への 要 著	24. 9	t t		t t	
① ^毋	見状	()	優処再処認処認熟処認熟処取款収理定工大大大定工大大大定工大大大定工大大大定工大大大で大大大大で<	処理業託 へ量	24. 9	t t		t t	
① ^毋	見状	()	優処再処認処認熟処認熟処取款収理定工大大大定工大大大定工大大大定工大大大定工大大大で大大大大で<	処理業託 へ量	24. 9	t t		t t	
① 野	見状	()	優処再処認処認熟処認熟処取款収理定工大大大定工大大大定工大大大定工大大大定工大大大で大大大大で<	処理業託 へ量	24. 9	t t		t t	

(第5面)

	(সাতা	ш/	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	ガラスくず、コンクリー トくず及び陶磁器くず
	全処理委託量_	10 t	10 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	10 t	10 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組 取組継続)	
₩ 			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ 事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産	業廃棄物の)排出の抑制に関する	事項							
		【前年度(令和5年度)実績】								
	①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
		排出量	1301.7 t	1.2 t	19.4 t	19.1 t	7 t	25.9 t	t	t
		【目標】								
	②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
		排出量	100 t	10 t	10 t	10 t	10 t	10 t	t	t
自	ら行う産業	達廃棄物の再生利用に								
		【前年度(令和5年度)実績】							
	①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
		【目標】								
	②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
自	ら行う産業	É廃棄物の中間処理に を応える。								
		【前年度(令和5年度)実績】							
		産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
	①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
		【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
	②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

自ら行う産業	業廃棄物の埋立処分又に	は海洋投入処分に	関する事項							
	【前年度(令和5年度)実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず			
①現状 	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	
	【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	
産業廃棄物 <i>0</i>	の処理の委託に関する 【前年度(令和5年度									
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず			
	全処理委託量	1301.7 t	1.2 t	19.4 t	19.1 t	7 t	25.9 t	t	t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	1231.7 t	1.2 t	19.4 t	19.1 t	7 t	21.7 t	t	t	
①現状	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	【目標】					I	Ī	T	Ī	
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず			
	全処理委託量	100 t	10 t	10 t	10 t	10 t	10 t	t	t	
②計画	優良認定処理業者への 処理委託量	100 t	10 t	10 t	10 t	10 t	10 t	t	t	
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	